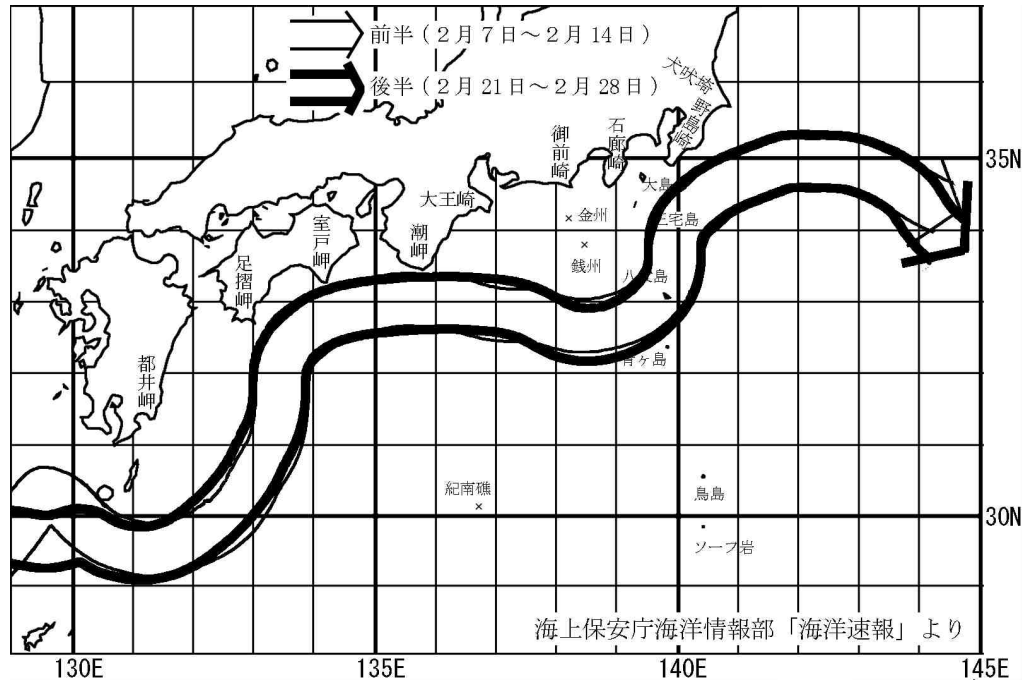


漁海況月報

平成 18 年 2 月 1 日

No. 2 ~2月28日

静岡県水産試験場
(電話 054 627 4815)
静岡県水産試験場伊豆分場
(電話 0558 22 0835)



[黒潮流路]

前半、九州東岸から四国の足摺岬にかけて離岸傾向で流れ、その後、潮岬にかけて接岸傾向で流れた。潮岬以東では、遠州灘沖の 32.5° ~ 33° N を東進し、八丈島から三宅島のやや東を北上し、房総半島に接岸傾向で流れた。小蛇行の東進により、御前崎、石廊崎では前月よりも 15 マイル離岸した。後半も前半とほぼ同様な流れを示したが、熊野灘から遠州灘にかけて小規模な離接岸がみられ、大王崎では 5 ~ 10 マイルの接岸、石廊崎では約 10 マイル離岸した。

[県下沿岸域]

県下の定地水温は、相模湾側では 12 ~ 14 台、駿河湾東部では 11 ~ 14 台、駿河湾西部では 9 ~ 14 台で経過し、平年並み ~ 低めであった。伊豆諸島北部海域から、下旬には駿河湾東部へ 14 台の、下旬後半には駿河湾口沖へ 15 ~ 16 台の暖水が波及した。しかし沿岸への影響はみられなかった。

[竿釣近海カツオ]

2月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海カツオの水揚量は539トンで前年同期の99%であった。魚価は283円/kgで、前年同期を若干上回った。ORYによれば静岡県船は19° ~ 26° N、136° ~ 141° Eで特大、大、中、特々大、小カツオを漁獲した。

竿釣近海カツオ水揚量 (県内主要5港)

| 期 間 | 水揚量 (トン) | 水揚 隻数 | 水揚量 / 隻 (トン) | 平均単価 (円 / kg) |
|---------|----------|-------|--------------|---------------|
| 18年2月上旬 | 126 | 7 | 18.0 | 319 |
| 中旬 | 249 | 11 | 22.6 | 290 |
| 下旬 | 164 | 7 | 23.4 | 245 |
| 18年2月計 | 539 | 25 | 21.5 | 283 |
| 17年2月計 | 544 | 40 | 13.6 | 376 |
| 16年2月計 | 735 | 38 | 19.3 | 351 |

[定置網]

平成18年2月、伊豆半島東岸大型定置網8か統(伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)における水揚量は145トンであった。1漁場当たり水揚量18.1トンは前年56.4トンの32.1%で、平年値(昭和57~平成17年平均値)23.2トンの78.0%であった。

魚種別にみると、マアジ75.0トン(前年の6.0倍、平年の4.7倍) カタクチイワシ15.6トン(前年の4%、平年の27%) プリ14.8トン(前年の40.2倍、平年の1.2倍) スルメイカ10.3トン(前年の1.5倍、平年の91%) ウルメイワシ6.9トン(前年の14.4倍、平年の2.9倍)の順に多かった。

マアジは川奈、北川、赤沢を中心に入網し、2月としては昭和57年以降で最も多く水揚された。尾叉長のモードは23cmにみられ2歳魚が中心であった。カタクチイワシは北川を中心に入網し、被鱗体長のモードは13.5cmにみられた。プリは川奈、富戸を中心に入網し、平均体重は8.6kgで、尾叉長は75~80cmであった。スルメイカは北川、富戸を中心に入網し、外套背長のモードは25cmであった。

2006年2月

定地水温の旬平均値()

(下段は偏差)

| 期 間 | 伊東 | 稲取 | 下田 | 雲見 | 沼津 | 焼津 | 地頭方 |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|
| 上 旬 | 13.7 | 14.2 | 13.3 | 12.9 | 12.9 | 13.9 | 10.7 |
| | 0.3 | 0.3 | 0.5 | 1.5 | 1.2 | 0.3 | 0.8 |
| 中 旬 | 13.2 | 13.8 | 13.1 | 12.5 | 13.1 | 13.3 | 11.2 |
| | 0.7 | 0.4 | 0.5 | 1.8 | 0.9 | 0.1 | 0.4 |
| 下 旬 | 12.7 | 13.3 | 12.7 | 13.5 | 13.2 | 13.1 | 11.6 |
| | 1.0 | 0.8 | 1.0 | 0.8 | 0.6 | 0.3 | 0.1 |
| 月平均 | 13.2 | 13.8 | 13.1 | 12.9 | 13.0 | 13.5 | 11.1 |
| | 0.6 | 0.4 | 0.7 | 1.4 | 0.9 | 0.0 | 0.5 |

ウルメイワシは北川、川奈を中心に入網し、昭和57年以降では3番目に多く水揚げされた。被鱗体長のモードは17.5～18.0cmにみられた。

漁場別水揚量は、マアジ、ブリの漁獲が多かった川奈(54トン)、マアジ、カタクチイワシ、ウルメイワシの漁獲が多かった北川(49トン)、マアジ、カタクチイワシの漁獲が多かった赤沢(17トン)の順であった。

[サバ棒受網]

小川港にはたもすくい、棒受網によってゴマサバ606トンが水揚げされた。棒受網の漁場は、御蔵島及び三宅島近海に、たもすくいの漁場は、三本及び三宅島周辺海域に形成され、尾叉長26～32cmのゴマサバ(2004年級群)が主に漁獲されたが、33cmを超える大きさのものが混じって漁獲された。ゴマサバ1kg当たりの平均単価は48円で、前年同期(41円)をやや上回った。

小川港 サバ類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

| 期 間 | 水揚量 (トン) | 日数 | 延隻数 | 1隻当り (トン) | 漁 場 |
|----------|-------------|----|-----|--------------|-----------|
| 平成18年 上旬 | 87 | 1 | 2 | 43.5 | 御蔵 |
| 2月 中旬 | 349 | 4 | 10 | 34.9 | 三宅、御蔵、三本 |
| 下旬 | 170 | 3 | 5 | 34.0 | 三宅、三本 |
| 計 | 606 | 8 | 17 | 35.6 | - - - - - |
| 平成17年2月 | 460 | 7 | 20 | 23.0 | 三宅、新島 |
| 平成16年2月 | 684 | 9 | 35 | 19.5 | 三宅、利島 |

[まき網]

小川港では、マイワシは9.0トン水揚げされ、平年同期(過去5か年平均:81.5トン)の11%と極めて低調であった。カタクチイワシは6.8トン水揚げされた。

沼津港では、マイワシは8.0トン水揚げされ、平年同期(109.9トン)の7%と極めて低調であった。カタクチイワシは3.2トン水揚げされた。

静浦港では、マイワシ、カタクチイワシともに水揚げされなかった。

伊東港では、マイワシは1.0トン水揚げされた。カタクチイワシは33.3トン水揚げされた。

[調査船の動向]

富 士 丸

～2月17日 南方カツオ調査(17日間)

駿 河 丸

2月2～3日 駿河湾内にてサクラエビ IKMT 調査(2日間)

2月6日 地先定線観測(駿河湾・遠州灘)(1日間)

2月9～10日 地先定線観測(駿河湾・遠州灘・伊豆)(2日間)

2月13～14日 久能沖にてトラフグ試験操業(2日間)

2月15～16日 駿河湾内にて静大深層水調査(2日間)

2月21～22日 駿河湾内にてシラス調査(2日間)

2月22～23日 銭洲、金洲にてサバ漁場調査(2日間)